

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果(H29.10.24 現)

公表：平成 30 年 4 月 16 日

事業所名 むく

配布数：7 回収数：7 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			メンバーの特性に応じて、適切な空間スペースで活動や食事ができるようにパーテーション等を使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	4		出張や会議の参加など、事前に分かっていることについては、勤務の調整を行う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	4		月1回のケース会議で、計画書の評価と立案を職員全員で行っている。日々の打合せの際に、メンバー1人ひとりの具体的取り組みを確認していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		年1回の個別面談、年1~2回の保護者会、年1回アンケート調査の実施等により、保護者の意向を把握していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	2	保護者会でお伝えする。 ホームページで公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			月1回、法人内の研修、不定期に外部の研修に参加し、専門性の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		保護者との個別面談、日々のメンバーとの関わりからアセスメントを行っている。サービス等利用計画との連動を意識し、事業所の特性を活かした支援が行えるように、計画書の作成に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		

	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3		長期休暇は活動プログラムの日案、放課後は週案を職員全員で話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		毎日打ち合せを行っている。個別支援計画に基づいた支援の具体的な取り組みを確認していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	4	長期休暇は毎回行っている。放課後は勤務時間の関係上難しいが、記録やメモを残し、翌日もしくは翌週に振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4		記録時間の確保や書式の工夫を行いながら、記録に残すことを習慣化していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	1	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2	1	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		年1回の健康診断と医療的ケア申請に関する書類を提出している。必要に応じてメンバーの状況について、随時連絡報告を行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		

	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			引継ぎのための資料を基に、情報の提供を行っている。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	お互いを知るという目的のために、交流する機会を長期休暇や行事（じねんじょフェスティバル）で企画していきたい。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参画しているか	4	3		児童発達支援管理責任者が出席している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	2	ペアレント・トレーニングの研修に参加する機会があれば参加していきたい。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		個別面談やその他の場面で相談を受けた際は、その場で答えられること、答えられないことを判断し、答えられないことについては専門職につないだり、改めてゆっくり話す時間を設けるようにしている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			事業所内外の苦情相談の窓口の一覧を事業所に掲示している。また、苦情受付（ご意見）箱を設置している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月1回通信、年2回広報紙を発行し、情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を凶っているか	7			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		職員、保護者へマニュアルの周知をしていきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年2回、法人全体の避難訓練を実施している。避難方法、消火器の設置場所、使用方法について、職員間で共有している。普段より、非常階段の扉前は避難動線を確保できるよう整理整頓を心がけている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			年1回、法人内の研修にて虐待についての研修を実施し、参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		緊急やむを得ない身体拘束に関して契約時に説明しサインをいただき、個別支援計画に明記している。利用時には、バギーや座位保持使用時間を記録している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		栄養士による保護者への聞き取りを行い、医師の指示書を基にアレルギー対応食を提供している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			